

シリーズ“暮らしつづけたいまち”を目指して

問／政策企画課 ☎463-3089



第5次朝霞市総合計画の将来像「私が暮らしつづけたいまち 朝霞」。“暮らしつづけたい”と思えるまちとなるよう定めた4つの基本概念(コンセプト)から市の取り組みをご紹介します。

自然・環境に 恵まれたまち

自然・環境に恵まれたまちとは、私が「四季折々の草花、動物たち、川や湧水などの自然が豊かだ」、「まちの歴史や文化伝統を大切に次の世代に手渡していける」と実感できるまちです。

～市民の声～ (市民満足度アンケートから)

食品ロスについて、市で何か取り組みをしているか知りたい。

市の取り組み ～食品ロス削減事業～

食品ロスとは、食品メーカーや飲食店で出される食べ残しや規格外のため廃棄されるもののほか、賞味期限を過ぎてしまったため家庭で廃棄されるものなどのことで、国内の食品廃棄物の3割から4割を占めています。

リサイクルプラザでは、家庭で食べずに残っている食品(例えば、お土産やお歳暮で受け取った食品)をお預かりし、市内の子ども食堂で有効に利用していただいています。

対象となる食品は、未開封の状態で賞味期限が1か月以上残っており、常温保存ができるものです。寄せられる食品は、調味料や乾麺、缶詰、お菓子などさまざまです。

家庭で食べないままいづれ廃棄してしまうのではもったいないうえに、環境にも悪影響を及ぼします。まずは、食品を余らせないことが大切です。作った人々への感謝も込めて、食品の使いきり、食べきりを心がけ、それでも残ってしまう食品はリサイクルプラザへお持ちください。

市では、食品ロスを減らすための啓発活動も行っています。引き続き皆様のご協力のもと、3R(リデュース、リユース、リサイクル)活動に取り組み、自然や環境にやさしいまちづくりを進めます。



インタビュー

子ども食堂(おへそ食堂)の職員の方にお話を伺いました。

Q. 子ども食堂は1回にどれくらいの方が来店しますか?

A. 大人を含め10～20人が来店します。

Q. リサイクルプラザからの食品をどのように使っていますか?

A. おへそ食堂では、提供を受けた食品によってメニューを決めています。子どもたちには、パスタやカレーが人気です。今日は子どもたちと餅をつき、リサイクルプラザから提供があった、きな粉やしょうゆで味付けし、おいしくいただきました。



問／リサイクルプラザ ☎486-0222